

第13回 卒業証書授与式

令和8年2月27日（金）

13期生 321名 ご卒業おめでとうございます。

この3年間、いろんな事に取り組み、それぞれが目指す新たな道へと歩みだしました。





生徒会長 送辞

13期生代表 答辞



卒業生の歌 『YELL』

さよならは悲しい言葉じゃない
それぞれの夢へと僕らを繋ぐ YELL
ともに過ごした日々を胸に抱いて
飛び立つよ 独りで 未来(つぎ)の 空へ



華道部から

校長室に来られる来賓の方々を
お花でおもてなし、していただきました。



PTA から

式 辞

冬の寒さも和らぎ、春の訪れが感じられる 今日の良き日に
尼崎市立 尼崎双星 高等学校第十三回 卒業証書授与式を挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、大きな喜びでございます。

ただいま卒業証書を授与いたしました
三百二十一名の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。

保護者の皆様におかれましても、本日のお慶びを心よりお祝い申し上げます。
また、本日ご臨席を賜りました来賓の皆様、並びに日頃より本校の教育活動を温かくお支えくださっております地域・関係各位に、高い所からではございますが、厚く御礼申し上げます。

十三期生の皆さん。皆さんが尼崎双星高等学校で過ごした日々は、学びと挑戦の積み重ねであり、仲間とともに歩んだかけがえのない時間であったことでしょう。悩み、考え、支え合いながら、それぞれの力を確かに伸ばして今日の日を迎えました。

普通科の皆さんは、幅広い教養を基盤に、自ら考え判断し表現する力を培いました。

工業学科である、ものづくり機械科・電気情報科の皆さんは、確かな技術と責任感を身につけ、ものづくりの精神を体現してきました。

商業学科の皆さんは、社会の仕組みを理解し、実践的な知識と信頼の大切さを学びました。

本校が根ざす尼崎市は、長年にわたり工業都市として発展し、ものづくりの技術と働く人々の誇りに支えられてきたまちであり、同時に、商業・サービスの活力度や、人と人との温かなつながりが息づく地域でもあります。皆さんは、地域の企業や事業所のご協力のもと、実習や探究活動を通して「社会と関わり、価値を生み出す」ことの意味を学ぶことができました。

さらに本校では、近隣の大学との高大連携のもと、専門的な学びや進路探究の機会を広げてきました。皆さんがそこで得た知見と経験は、次のステージへ進む確かな礎となることでしょう。

本校の校歌のタイトル

「未来をつなぐ」

未来は遠くにあるものではありません。今日の努力が明日を形づくり、人との出会いが可能性を広げ、皆さん一人ひとりの行動が社会の次の一歩へとつながっていきます。

これから皆さんが歩む道はさまざまです。

進学、就職、さらなる専門性への挑戦——どの道においても、

次の三つを心に留めてください。

第一に、学び続けること。変化の時代において、学びは生涯の力となります。

第二に、人を大切にすること。信頼は最も確かな財産です。感謝と敬意を忘れないでください。

第三に、挑戦を恐れないこと。失敗は成長の入り口です。前へ踏み出す勇気を持ち続けてください。

在校生の皆さん。先輩方が築いてきた伝統と志を受け継ぎ、本校の学びをさらに発展させてください。皆さん一人ひとりの努力が、学校の新しい歴史をつくります。

教職員の皆さん。日々、生徒一人ひとりに寄り添い、学びと成長を支えてこられたご尽力に、心より敬意と感謝を表します。皆様の真摯な教育への情熱が、本日の晴れの日を支えています。

最後になりましたが、十三期生の皆さんの前途が希望に満ち、健やかで実り多きものでありますことを祈念するとともに、皆さんがそれぞれの場所で新しい価値を創り出し、社会へ、そして次の世代へと未来をつないでいくことを心より願ひ、式辞といたします。

令和八年二月二十七日

尼崎市立尼崎双星高等学校

校長 開田 守